

エイドリアン・カニンガム先生 講演会

レコードキーピングにおいて世界を先導する オーストラリアの革新 — それを支えた人々、出来事、環境 —

〔日 時〕 2022年11月26日(土) 14時～17時

〔開催形式〕 ハイブリッド方式 (逐次通訳付き。講演後に質疑応答あり)

〔会 場〕 学習院大学 中央教育研究棟301教室

今世紀初頭に記録管理に関する初の国際規格であるISO15489-1の成立を促し、デジタル時代の今日では、アーカイブズ分野においても世界をリードし続けているオーストラリアの革新を実現したものは何か？

この講演は、20世紀半ばにヨーロッパをモデルとしてスタートしたオーストラリアの理論と実践の開花を支えた歴史的、文化的背景、世界の先駆的なアーキビストたちとの対話と交流、出来事や環境から受けた影響を明らかにしつつ、記録管理やアーカイブズの将来を展望する試みである。

それは、後進性を指摘されがちな日本における学びや直面する現実的課題の解決にも数多くの示唆を与えるものとなるだろう。

講演者 Adrian E. Cunningham (エイドリアン・カニンガム)

1981年、図書館情報学学士(オーストラリア工科大学)。1981～1988年、ニューサウスウェールズ州立図書館司書。1989～1997年、オーストラリア国立図書館のマニュスクリプトアーキビスト兼司書。1993年、歴史学修士(オーストラリア国立大学)。1998～2011年オーストラリア国立公文書館、部長。ICA(国際アーカイブズ会議)において、ISAD(G)2nd, ISAAR(CPF)2nd及びISDF策定に携わる。2010年、Emmett Leahy Award受賞。2011～2017年、クイーンズランド州立文書館デジタルアーカイブズ部長。2019年、ICAフェロー。

申込方法

下記Googleフォームより事前申し込み(オンライン・対面ともに)
<https://forms.gle/bWDCKp7IKJwEm1yQ8>



主催：学習院大学アーカイブズ学専攻、日本アーカイブズ学会

共催：学習院大学文学会(開催協力)

後援：独立行政法人国立公文書館

問い合わせ先：学習院大学大学院アーカイブズ学専攻事務室

